

## 会 告

農業土木学会第37回通常総会開催について.....	96
平成16年度「研究グループ」の助成金について.....	96
「土地改良施設 耐震設計の手引き」の発行について.....	96
土地改良事業計画設計基準・計画「農地地すべり防止対策」の発行について.....	97
国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の配布について.....	97
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め.....	97
農業土木学会誌への投稿お待ちしております！小特集以外の投稿も歓迎します。.....	98
あなたの写真で学会誌の表紙を飾ってみませんか 平成17年「農業土木学会誌」表紙写真募集.....	99
第55回関東支部講演会の開催（第1報）.....	99
第17回水文・水環境研究部会シンポジウムのご案内.....	100

## 学会記事

.....	101
-------	-----

### 農業土木学会（本部）行事の平成16年度計画

農業土木学会（本部）16年度行事について、下表のように計画しています。奮ってご参加下さるようお待ちしております。

Ⓔのマークが付されているものは農業土木技術者継続教育認定プログラム、または認定申請中(Ⓔ)を表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成16年9月 7～10日	平成16年度大会 運営委員会	平成16年度大会講演会		札幌市	72巻 13号

### 農業土木学会関連行事予定

平成16年9月 16～17日	関東支部	第55回関東支部講演会		静岡県 浜松市	72巻5号
平成16年	農地保全研究部会	第25回農地保全研究集会		佐賀県	
平成16年8月 26～27日	農村計画研究部会	第26回現地研修集会	みんなで描く山里ものがたり (仮)	岐阜県 高山市	
平成16年9月 8日(予定)	材料施工研究部会	企画セッション	基盤系科目では何を教えねば ならないか	北海道 札幌市	
平成16年9月	水文・水環境研究部会	企画セッション	地球規模水循環変動から見た 水と食料	北海道 札幌市	72巻6号 (予定)
平成16年9月	農村道路研究部会	企画セッション	寒冷地における農道整備の現 状について	北海道 札幌市	
平成16年9月	応用水理研究部会	企画セッション	農業土木分野における応用水 理学研究の課題	北海道 札幌市	
平成16年9月	農村計画研究部会	企画セッション	畜産酪農資源をめぐる循環型 農村地域形成の展望	北海道 札幌市	
平成16年9月	農村生態工学研究部会	企画セッション	農村生態工学が果たす役割	北海道 札幌市	
平成16年9月	資源循環研究部会	企画セッション	農業土木における資源循環 への貢献 バイオマス資源の エネルギー変換	北海道 札幌市	
平成16年9月	農業水利研究部会	研修会			
平成16年10月	農村生態工学研究部会	地方研究会		兵庫県	
平成16年10月 14～15日	水文・水環境研究部会	第17回シンポジウム	農林地および広域の水文・水 環境	茨城大学 農学部	72巻5号
平成16年10～11月	農村道路研究部会	平成16年度研究発表会及び 現地見学会			
平成16年11月	土壌物理研究部会	第43回研究集会			
平成16年11月	農村生態工学研究部会	平成16年度研究部会発表会		幕張メッセ	
平成16年12月 中旬	材料施工研究部会	第42回シンポジウム	水利施設のストックマネージ メント	茨城県 つくば市	72巻9号 (予定)
平成16年12月	応用水理研究部会	平成16年度応用水理研究部会講演会	応用水理学分野の研究発表	福岡市	72巻10号 (予定)
平成17年1月	農村生態工学研究部会	地方研究会		栃木県	
平成17年3月	水土文化研究部会	第2回水土文化研究部会	水土文化の持つ機能と共有認 識に向けて	農業工学 研究所	

## 農業土木学会学会第37回通常総会開催について

社団法人農業土木学会定款第27条により、第37回通常総会を下記により開催いたしますので、代議員にはできるだけご出席くださるようご案内申し上げます。なお、定款第27条4項により、正会員は総会に出席して、議長の了解を得て意見を述べることができます。

議案の詳細につきましては、ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) に掲載してあります。

### 記

**日 時** 平成16年5月18日 15:00~16:00  
**場 所** 虎ノ門バストラル新館4階アイリスガーデン  
**議 案** 1. 平成15年度事業報告  
 2. 平成15年度収支決算

3. 平成16年度事業計画  
 4. 平成16年度収支予算  
 5. 名誉会員の推挙  
 6. 第19期役員の選任

## 平成16年度「研究グループ」の助成金について(再)

### 研究委員会

「研究グループ」の育成を目的とし、下記取扱い内規によって研究助成を行います。

助成金額は、原則1件20万円程度、3件以内です。

本年度の申請締切は、平成16年6月25日(金)ですので、助成金を希望される方は期限までに、所定の様式(学会HP参照)で研究委員会委員長宛にお申込み下さい。

試験研究機関、行政、大学、民間等からの応募を歓迎いたします。

### 「研究グループ」への助成金取扱い内規

1. **申請**：学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上、「研究グループ」への助成金の申請ができる。なお、申請者の資格は、後述の「4. 助成対象」に示すとおりとする。
2. **認定**：研究委員会は助成金申請のあった「研究グループ」につき、その可否を認定し、学会長に報告する。
3. **配布**：研究委員会は認定した「研究グループ」に対し、「研究連絡費」として助成金を配布する。ただし、その配布は原則として1年とする。
4. **助成対象**：申請できる条件(助成対象)は次のとおりとする。

(イ) 具体的な研究テーマをもち、しかもその研究分野が現在立ち遅れており、それを研究することが学会の研究活動の発展に対して新しい芽になりうること。

(ロ) 「研究グループ」の構成は本学会員を主とし、構成員は自らその研究に携わる分担者であること。

(ハ) 「研究グループ」には代表者(本学会員)をおき、構成員は原則として3名以上、それらの所属する機関が二つ以上あること。

(ニ) 「研究グループ」のすべての構成員の年齢は、助成金申請締め切り日に36歳未満であること。

5. **活動報告**：助成金を配布された「研究グループ」は助成金配布後1年以内に活動報告<sup>注1)</sup>を研究委員会に提出すること。

注1) 研究経過報告書の執筆にあたり、農業土木学会誌報文原稿執筆の手引きを参考とし、学会誌刷り上がり1~2ページに収まるようにまとめること。

2) 「研究グループ」からの研究経過報告は研究委員会承認の上、学会誌に掲載する。

## 「土地改良施設 耐震設計の手引き」の発行について(再)

このたび、「土地改良施設耐震設計の手引き」が発行となりました。内容は、以下のとおりとなっております。

ご希望の方は、下記要領でお申込みくださいますよう、お願いいたします。

なお、本手引きの要旨は、本誌 pp.71~74 を参照ください。

### 内 容

- 第1章 総 論
- 2章 基本方針
- 3章 調 査
- 4章 設計条件
- 5章 設計手法

- 6章 施設ごとの設計手順
- 7章 液状化の検討
- 8章 耐震診断
- 資料編 耐震設計例

1. 鉄筋コンクリート橋脚の計算

- 2. 暗渠（ボックスカルバート）の計算
- 3. パイプラインの計算

記

- 1. 判 型 A4判, 約700ページ
- 2. 販 価 7,700円（内税, 送料学会負担）

- 3. 申込方法 郵便振替(00160 8 47993)または現金書留でお申込み下さい。
- 4. 申込先 〒105 0004 東京都港区新橋5 34 4  
(社)農業土木学会事務局 担当: 関根  
☎ 03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

**土地改良事業計画設計基準・計画「農地地すべり防止対策」の発行について**

このたび、標記土地改良事業計画設計基準が改定され、5月に発行されることとなりました。判型、ページ数、価格は下記のとおりです。ご希望の方はお申込み下さい。なお、改定の趣旨は、本誌4月号pp.67~68を参照下さい。

記

- 1. 判 型 A4判 約410ページ
- 2. 定 価 5,000円（内税, 送料学会負担）
- 3. 申込方法 郵便振替(00160 8 47993)または現金書留でお申込み下さい。

- 4. 申込先 〒105 0004 東京都港区新橋5 34 4  
(社)農業土木学会事務局 担当: 関根  
☎ 03 - 3436 - 3418 FAX 03 - 3435 - 8494

**国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお祝いと  
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の配布について**

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して、新たな国際学会(国際水田・水環境工学会; International Society of Paddy and Water Environment Engineering)を設立、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2004年3月にはVol.2 No.1が発刊されました。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関する研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方が国際学会へ入会されることを望みます。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑(水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水(排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全(土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全(水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能(洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全(水生, 陸生動植物の生態系)
- ⑦ 地域計画(農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ バイオ環境システム(水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
- ⑨ 水田の多目的利用(田畑転換, 施設園芸)
- ⑩ 農業政策(農村振興, 条件不利地の支援策など)

水田農業を通じた国際的な研究交流、情報交換の場として、皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと、会員には国際ジャーナルが、無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag社(ドイツ)

発刊スケジュール: 2003年3月創刊, 以後3カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000円/年/4冊(送料等学会負担)

学生会員(院生含む) 8,500円/年/4冊(送料等学会負担)

申込先: 農業土木学会編集出版部 吉武宛

ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp>

入会のお申込みは、学会HR(<http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm>)の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ、メールまたはFAXでお申込みいただけます。

農業土木学会は、300人の国際学会員を募る義務を負っておりますが、現在会員数は251名(4月現在)であり、いまだ目標会員数には達していません。そのため、編集業務を含め年間数百万の赤字体質となっております。この窮状をお察しいただき、多くの新規入会のお申込みをお願いします。

**国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め**

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機

関等と連携して、新たな国際学会(国際水田・水環境工学会; International Society of Paddy and Water Environment Engineering)

を設立し、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊 2004年3月には Vol 2 No.1 が発刊されました。

我が国においても学術誌の評価に、SCI(Science Citation Index)のIF (Impact Factor) が利用されており、本国際ジャーナルでもIFの取得により高い評価の定着を目指しています。

また、世界13カ国からEditor(13名)を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer Verlag社からの刊行です。

掲載論文は、Review, Article, Technical ReportおよびShort Communicationの4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、SCI獲得のために年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りますが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

皆様方の多数の投稿を期待しております。

**編集方針**：水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術

の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水、土壌保全、土地資源や水資源の保全と管理、水田の多面的機能、農業政策、地域計画、バイオ環境システム、生態系の保全、水田保全、田畑輪換等である。

**編集体制**：

- Editor in Chief : Dr. Yohei Sato (Japan)
- Editors および Editing Board には世界各国から**斯界の権威が**就任しています。
- Managing Editors : Dr. Yoshisuke NAKANO (Japan), Dr. Nobumasa HATCHO (Japan), Dr. Yoshito YUYAMA (Japan), Dr. Ke Sheng CHENG (Taiwan), Dr. Chun Gyeong YOON (Korea)

**出版社**：Springer Verlag社(ドイツ)

**投稿資格**：筆者全員が国際学会員であること。

**投稿先**：農業土木学会気付・中野芳輔宛で受付。

**投稿要領等**：<http://www.jsidre.or.jp> に詳細を記載しています。

**農業土木学会誌への投稿お待ちしております！小特集以外の投稿も歓迎します。**

**農業土木学会誌編集委員会**

## 72巻・73巻の小特集テーマのお知らせと報文原稿の募集

小特集のテーマに沿った原稿を、次表に従って広く会員から募集いたします。**小特集以外の自主投稿も歓迎します。**

また、今後取上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集いたします。なお、小特集のテーマは仮題となっておりますので、予告なく変更することがございます。特集の趣旨をお読みいただいた後、公募原稿要旨を学会誌編集委員会あてにお送りください。

採用された原稿の分量は、**刷上り4ページ**となっておりますので、ご執筆の際には**厳守**いただきますよう、お願いいたします。

学会誌第72巻12号～73巻5号までの小特集のテーマ(予定)

小 特 集 の テ ー マ	要旨締切(必着) (A4判用紙,1,500字以内)	原稿締切 (刷上り4ページ)
12号 国立大学法人化の波紋(仮)	平成16年5月31日	平成16年7月15日
73巻 1号 水土文化遺産(仮)		
2号 ブロック編集担当号の予定です。		
3号 貧困削減・平和構築と海外農業農村開発,食糧自給率(仮)		
4号 流域の水環境管理(減水深を含む)(仮)		
5号 技術者資格(仮)		

### 72巻12号テーマ：「国立大学の法人化の波紋(仮)」

2004年4月1日をもって、国立大学及び国立短期大学等は、国立大学法人 大学(又は短期大学等)となりました。この有史以来の大学組織の大変革は、食料・農業・農村整備に関わる研究及び高等教育を担う多くの教員・学生に少なからぬ影響を及ぼしていると考えられます。大学人のみならず、一般社会からも大学法人化は期待と不安の相反する両面からみつめられているようです。

法人化により何がどのように変わり、どのような成果や問題点が浮かび上がったかを、農業土木技術者の目から見て論じる必要があると考えます。そこで、大学人のみならず、法人化した大学と連携する行政や民間企業の立場から広い見解を集め、小特集としたいと考えます。広く公募記事を求めますので、奮ってご投稿ください。

**あなたの写真で学会誌の表紙を飾ってみませんか**

—平成 17 年「農業土木学会誌」表紙写真の募集—

**農業土木学会誌編集委員会**

学会誌編集委員会では、平成 17 年も皆さまからの写真で表紙を飾ることを企画しました。つきましては、下記の要領で学会誌第 73 巻(平成 17 年 1~12 月号)の表紙写真を募集しますので、ふるってご応募下さい。

なお、単写真だけでなく、組写真による応募も受付けております。組写真では、3~4 枚の写真を組み合わせて、ストーリー性を持たせた写真にして下さい。

**記**

1. **趣 旨** 近代に至るまで、わが国の農業土木技術者たちはその時々技術を結集し、稲作、ひいては国土を支えてきました。こうして築かれた「造形」の多くは周辺の風景と一体化しつつ、今もなお、その機能を十分に発揮しています。

学会誌編集委員会では、農業土木の先駆けとなったそうした農業水利遺産を見直すために、「先人たちの造形が織りなす風景」をテーマとし、学会誌の表紙を飾る写真を公募します。皆さんの身近なところやふるさとで、先人たちの想いに心寄せながら、心に残る「一枚」を見つけ、ぜひお送りください。

なお、本来の機能を発揮している灌漑期だけでなく、静かにたたずむ非灌漑期の写真も、お待ちしております。

2. **写真の種類** 単写真、組写真いずれもカラープリントでサイ

ズは六ッ切。組写真の場合は、そのことを明記して下さい。

3. **枚 数** 応募点数には制限がありませんが、未発表のものに限ります。

4. **締 切** 平成 16 年 9 月 30 日(必着)

5. **審 査** 審査委員会(編集委員と写真家)で 12 点を選びます。

6. **結果発表** 学会誌 73 巻第 1 号で入賞者と掲載号を発表し、入選作品は、平成 17 年度大会会場でパネル展示します。

7. **賞 品** 入選作品 1 点につき 3 万円(表紙掲載料含む)。応募者には記念品をお贈りします。

8. **応募資格** 学会員でなくとも結構ですので、周囲の方々にもお勧め下さい。

9. **その他** 応募写真の裏面にタイトル、住所、氏名、年齢、職業、性別、写真のテーマ、撮影場所、撮影月日、撮影データ(フィルム、使用カメラ)を記入して下さい。また、対象物の名称(固有名詞)、対象物をめぐる歴史的背景等の説明(いつ、だれが、どうして等)もお寄せ下さい。

原則として、応募写真は返却いたしません。なお、入選作の著作権は、(社)農業土木学会に属します。

10. **宛 先** 〒105 0004 東京都港区新橋5 34 4 (社)農業土木学会 農業土木学会誌編集委員会 「表紙写真公募」係

**第 55 回関東支部講演会の開催について(第 1 報)**

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. **日 程**:平成 16 年 9 月 16 日(木)

支部大会 10:00~11:00

講演会 11:00~16:00

情報交換会 17:30~19:00

平成 16 年 9 月 17 日(金)

現地研修会 8:30~16:00

(静岡県内農業農村整備事業実施場所等)

2. **場 所**:アクトシティ浜松

〒430 7790 静岡県浜松市板屋町 111 1

☎053 451 1112

3. **参加申込**

(1) **講演会, 情報交換会, 現地研修会**

上記申込み締切日:平成 16 年 7 月 30 日(金)

(2) **講演申込**

申込方法:講演希望者は、講演者氏名、演題(仮題でも可)、講演要旨(200 文字以内)を明記のうえ、事務局あて申込み下さい。

申込締切日:平成 16 年 6 月 30 日(水)

原稿締切日:平成 16 年 7 月 30 日(金)

講演時間 :15 分以内(質疑応答時間含む)

4. **問合せ先**

静岡県農業水産部農山村計画室

〒420 8601 静岡県静岡市追手町 9 6

☎054 221 2723 FAX:054 221 2449

5. **その他** 詳細は、学会誌 6 月号に掲載する予定です。

## 第17回水文・水環境研究部会シンポジウムのご案内

### 水文・水環境研究部会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期 日 平成16年10月14日(木),15日(金)
2. 会 場 茨城大学農学部こぶし会館2階研修室  
(常磐線土浦駅西口より関東鉄道バス1番乗り場  
阿見中央公民館行き,茨大前下車(所要時間約20  
分),徒歩1分)
3. プログラム(予定)
  - 10月14日(木)12:30~13:00 受付
  - 13:00~17:30 研究会
  - 18:00~20:00 情報交換会
  - 10月15日(金)9:00~12:00 研究会
4. 講演内容 農林地および広域の水文・水環境
5. 講演時間 1課題30分程度(質疑応答も含む)
6. 参加費 1,000円(部会資料を無料配布します)
7. 講演申込 平成16年9月3日(金)まで。  
申込先は、10の研究会・情報交換会の参加申込先  
と同じです。
8. 講演原稿 平成16年9月17日(金)まで(必着)  
原稿はA4サイズ(10.5ポイント40字×40行,  
マージン:上25mm,下27mm,左23mm,右  
25mm)の10頁までとし,題名の和文・英文,著  
者名・所属の和文・英文,abstract(250 words以  
内),要旨(350字以内),キーワード(5~7個),本  
文(原則1段組)の順として下さい。A4原稿を  
B5サイズに縮小し,部会誌「応用水文No.17」と  
してオフセット印刷します。送付先は、10の研究  
会・情報交換会の参加申込先と同じです。  
なお,下記の部会ホームページに原稿サンプルを  
掲載しております。
9. 情報交換会 10月14日(木)18時から,茨城大学農学部  
こぶし会館食堂,会費5,000円(予定)
10. 研究会・情報交換会の参加申込  
氏名,連絡先(住所,TEL,FAX,E-mail)および参加項目(研  
究会・情報交換会)を記載の上,下記宛FAXまたはE-mailで,  
平成16年10月8日(金)までにお申込み下さい。  
〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1  
茨城大学農学部 中曽根英雄あて  
FAX 029-888-8525 ☎ 029-888-8602(黒田久雄)  
E-mail kuroda@mx.ibaraki.ac.jp(黒田久雄)
11. 宿泊申込 宿泊の斡旋は致しません。  
【付記】部会シンポジウムの最新情報および詳細情報は,部会ホー  
ムページ(<http://ealfor.ans.kobe-u.ac.jp/index.html>)をご参照  
下さい。